

透析液安全管理研修会

透析液を用いたオンラインプライミングやオンラインHDFなどの治療が普及し、臨床工学技士には清浄度の高い透析液を安定供給する責務があります。治療の安全性を担保するには透析液製造工程の運用・管理が重要となり、当会では臨床工学技士の知識向上のため研修会を基礎編と管理者編に分けて開催していました。今回は、この2つの研修会を統合し、上流の原水から下流の透析関連排水までを適切に管理するための研修会を企画しました。本研修会では、日本透析医学会が発行した「2016年版透析液水質基準」の解説に加え、当会が発行した「2016年版透析液水質基準を達成するための手順書」をより詳細に解説した講義を盛り込み、透析液安全管理者だけでなく、透析液作製業務に携わっている臨床工学技士が、施設の安全管理に活用できる内容をお届けします。

開催概要

■ 第1回開催 受講期間 2022年12月13日(火)～2023年1月11日(水)

申込期間 2022年10月5日(水)～10月18日(火)

■ 第2回開催 受講期間 2023年2月1日(水)～3月2日(木)

申込期間 2022年12月7日(水)～12月20日(火)

■ 受講料 会員 10,000円 非会員 20,000円*

※但し、10,000円の差額は当会が開催する講習会・研修会事業への協賛金として取り扱う。

■ 受講対象者 国家資格を有する医療従事者（臨床工学技士および他の医療職種）

■ 申込方法 当会会員情報システム“e-プリバド”よりお申し込み下さい。

<https://www.ja-ces.or.jp/jsc/omoushikomi/>

■ その他 「臨床工学技士認定制度」に係る本研修会取得単位は、10単位となります。



注意事項

①お申込み時、e-プリバドに登録されているメールアドレス・郵送物指定送付先住所をご確認ください。

②お申込み後にe-プリバド情報を変更した場合は、必ず seminar@ja-ces.or.jp へご連絡ください。

③当会会員の方は、必ず「e-プリバド会員用」よりお申込みを行ってください。

※当会会員の方が「e-プリバド非会員用」にてお申込みを行った場合、受講料は非会員価格となります。

また、お申込み後の変更はできません。

④受講期間中に全ての講義を視聴できなければ修了証は発行されません。

⑤受講期間を過ぎると視聴できません。詳しい受講方法はJSCホームページをご参照ください。

2022年度【eラーニング】

透析液安全管理研修会 プログラム(予定)

	講義内容	講師	講義時間	最終更新
講義 1	透析液安全管理体制と透析機器安全管理委員会の役割 (排水管理を含む)	みはま病院 内野 順司 先生	45分	2022
講義 2	2016年版透析液水質基準のポイント	明理会中央総合病院 星野 武俊 先生	45分	2022
講義 3-1	透析液の化学的汚染と生物学的汚染について —化学的汚染の基礎知識	新松戸中央総合病院 菅野 有造 先生	45分	2022
講義 3-2	透析液の化学的汚染と生物学的汚染について —生物学的汚染の基礎知識	医療法人仁聖会 小畑醫院 山本 英則 先生	45分	2022
講義 4-1	微生物制御方法 —洗浄・消毒	倉敷芸術科学大学 楢村 友隆 先生	55分	2022
講義 4-2	微生物制御方法 —バイオフィルム対策	吉田製薬株式会社 梶浦 工 先生	45分	2022
講義 4-3	微生物制御方法 —生物学的汚染の評価法	群馬パース大学 齋藤 慎 先生	45分	2022
講義 5-1	透析用水作製装置の設計と管理	東京女子医科大学 安部 貴之 先生	45分	2022
講義 5-2	透析液作成工程での管理方法 —供給装置・溶解装置・透析用監視装置・配管等	社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 小野 信行 先生	45分	2022
講義 6	微生物汚染を考慮したメンテナンス	医療法人 信英会 越谷大袋クリニック 本田 和美 先生	40分	2022
講義 7	透析液の成分濃度測定と管理方法	本間なかまちクリニック 五十嵐 一生 先生	45分	2022